

久留米大学では、受診時に患者さんから取得された診療情報等を使用して下記の研究を行っています。本研究で使用される診療情報等は他機関への提供は行いません。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】低流量重症大動脈弁狭窄症患者に対するTrifecta人工弁の有用性の検討

【診療情報の対象者（研究対象者）】

- 1) 受診期間：西暦2012年9月～西暦2020年3月の間に受診
- 2) 受診科：久留米大学病院外科
- 3) 対象疾患名：大動脈弁狭窄症と診断され、Trifecta人工弁を使用して施行された大動脈弁置換術の治療を受けた方

【診療情報等の項目】

<術前患者背景>

年齢、性別、BSA

既往歴（高血圧、脂質異常、糖尿病、COPDの有無） 喫煙歴の有無

内服薬（ACE阻害薬、ARB、 β blocker、Ca blocker内服の有無）

人工透析の有無 心房細動の有無 NYHAクラス分類

血圧（収縮期、拡張期、平均） 脈拍数

術前血液検査（Hb, Alb, Crea, eGFR, NTproBNP）

<手術成績>

手術時間、人工心肺時間、大動脈遮断時間

使用したTrifecta生体弁のサイズ（19mm, 21mm, 23mm）

併施手術の有無；冠動脈バイパス術、三尖弁形成術、大動脈人工血管置換術、不整脈手術

緊急症例、二尖弁症例

手術死亡 術後挿管期間、ICU滞在日数、術後在院日数

術後合併症の有無（出血による再開胸、長期人工呼吸器管理、術後心房細動、縦隔洞炎、SSI、人工弁感染）

<心エコー評価>

左室収縮能（EF）左室拡張末期/収縮末期径、左室中隔/後壁径

大動脈狭窄症重症度評価（流速、最大/平均圧較差、弁口面積）

左室心筋重量、一回心拍出量

<遠隔期成績>

生存日数心血管イベント発生までの期間

【研究目的】

他の生体弁よりも弁口面積が広いTrifecta人工弁が重症大動脈弁狭窄症患者で低流量である症例に対する大動脈弁置換術に使用された場合に、症例の手術成績や生命予後にどのような影響を与えるかを検討

する研究である

【研究期間】 久留米大学倫理委員会承認後から西暦2025年3月31日まで

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません

【問い合わせ先】

研究責任者（使用する情報の管理責任者）：久留米大学医学部外科学講座 教授 赤木 由人

問い合わせ担当者：久留米大学医学部外科学講座 心臓血管外科部門 高瀬谷 徹

TEL：0942-35-3311（内線3542）

E-mail: ttakaseya@med.kurume-u.ac.jp